

第1回QOL（生活の質）WGの進め方

<今回のテーマ>

バイタルデータの活用によるスマートヘルス社会の実現

<概要>

ミツフジ株式会社が京都府及び京都北部2市2町と連携して、地域住民のバイタルデータを取得する実証実験を実施（2020年）。取得データをPF会員に有償で提供予定。これらのデータを活用した新たな健康増進施策の創出や地域の健康経営の促進に向けた検討を行う。

<スキーム>

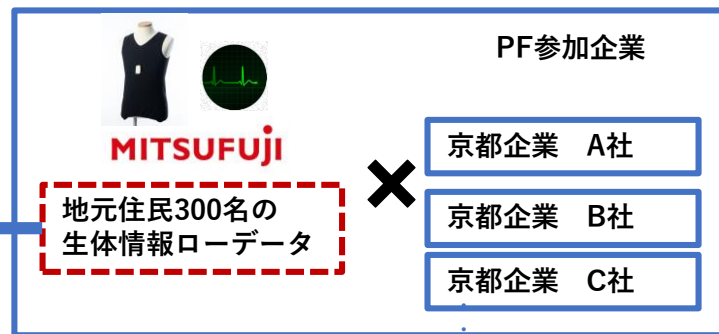
- ✓ ミツフジとのタイアップ企業はミツフジが京都北部で実証実験を通じて取得予定の地域住民の生体情報※（個人情報なし）の活用が可能
- ✓ 参画企業は地域住民の生体情報を利用して、自社の事業開発・サービス開発に取り組むことができる

※生体情報

- ミツフジは京都北部において地域住民の心電・心拍他のデータを24時間一定期間（2か月程度を想定）にわたり取得する予定である。（サンプル数は300~500程度）
- 取得したデータは京都府立大、京都府立医科大学等で分析・アルゴリズム開発を行う予定である

※弊社は「新型コロナウイルス感染症対策技術結集事業」に採択いただき、京都府にて実証実験の実施を予定しております（関連資料別紙）

データ分析：
京都府立大
京都府立医大
北部医療センター



ミツフジとタイアップする企業は生体情報ローデータを活用した事業開発、サービス開発に取り組む